

# 香川大:台湾・国立屏東大学と学術交流協定を締結

令和7年3月17日(月)、経済学部原直行副学長が台湾の国立屏東大学を訪問し、本学と同大学との間で「学術交流協定」および「学術交流に関する実施細則」の調印式を執り行いました。

国立屏東大学は、2014年8月1日に「国立屏東教育大学」と「国立屏東商業技術学院」が統合されて設立された国立大学です。

今回の協定締結により、経済学部を中心とした本学の関係部局では、学生の交流に加え、教員・研究者との交流や共同研究の実施など、幅広い学術的連携が進められていきます。特に、観光分野や地方創生・まちづくりにおいては、研究交流の深化が期待されています。。

25.03.17



香川大学

香川大学 :: 国立屏東大学と学術交...

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/news/23-2/33034/>

# 「観光かがわ食の多様性に向けた協議会」が設置 外国人観光客の食の多様性に対応へ ベジタリアンやヴィーガンなど

25.03.19

ベジタリアンやヴィーガン、ムスリムなど、香川県を訪れる外国人観光客の食の多様性に対応しようと、協議会が設置されました。新たに設置されたのは、「観光かがわ食の多様性に向けた協議会」です。香川県内のホテルや旅館、飲食店など16の事業者が参加します。

観光庁の推計では、訪日旅行者の約5%がベジタリアンとヴィーガンで、香川への来県が最も多い台湾でもベジタリアンなどの割合が高いとされています。協議会は、様々な食への対応で香川を訪れやすくすることが狙いです。

(観光かがわ食の多様性に向けた協議会 三矢昌洋会長)

「香川への旅行で自然や文化の魅力を満喫していただくとともに、食事でも安心して楽しんでいただけることを発信していけば」協議会では、今後セミナーを開くなどして、食の多様性に対応できる事業者を増やしていきたいとしています。



TBS NEWS DIG

観光かがわ食の多様性に向けた協議会」...

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/rsk/1798225>

# 香川大: JICAメキシコ人研修生が学長表敬訪問

25.05.28

2025年5月28日(水)、JICA日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修「起業とイノベーション・エコシステム形成」(創造工学部教授 平見尚隆 採択)へ参加するため来日したメキシコ人研修生5名が本学上田学長を表敬訪問しました。

本研修は、2025年5月から12月までの約7か月間、創造工学部造形・メディアデザインコースの平見研究室に所属しながら、学内での活動にとどまらず、香川県内外における現地での実践的な研修も積極的に行う内容となっています。

研修生の皆さんにとって、本研修が異文化の中での挑戦と成長の貴重な機会となり、将来にわたる国際的なネットワークの礎となることが期待されます。



香川大学

香川大学 :: JICAメキシコ人研修生の学長表...

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/news/23-21/33215/>



# クリエアナブキ×百十四銀行×JETRO香川： 外国人材雇用セミナー

25.06.13

クリエアナブキは、2025年7月16日に株式会社百十四銀行（本店：香川県高松市／頭取：森 匡史）と独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）香川貿易情報センターとの共催にて、地域企業を対象に、外国人材の受入と定着や外国人活用の必要性について理解を深めるためのセミナーを開催します。

地域企業の多くが人手不足という大きな課題の中、外国人材は地域産業を支える重要な担い手として注目されている一方で、在留資格制度の複雑さや職場・生活環境の整備など、受け入れ企業にとってはさまざまなハードルがあるのも事実です。

そこで今回、外国人材の雇用を検討中、またはすでに雇用している地域企業の皆さまを対象に、外国人材の活躍を支援するジェトロ香川と、地域社会への貢献をめざす百十四銀行とクリエアナブキの共催で、外国人材の受け入れと定着に役立つ実践的なセミナーを開催することとなりました。。

参加費無料

オンライン参加も可

2025年7月16日（水）  
15:00～16:30

高度・外国人材活用

優秀な外国人材を社員に！  
採用に向けた第一歩

✓ これから外国人材を社員として採用していきたい方向けに、外国人材採用に向けたポイントを分かりやすく解説します。

✓ セミナー後半では、日本企業で働くポイントや課題を外国人社員による視点でお届けします。

セミナー内容

第1部

外国人材採用に向けて考慮すべきポイント  
独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ） 神戸貿易情報センター  
高度外国人材活躍推進コーディネーター 清水 一憲 氏

第2部

パネルディスカッション：外国人材社員から見た日本企業  
独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ） 神戸貿易情報センター  
高度外国人材活躍推進コーディネーター 清水 一憲 氏  
株式会社クリエアナブキ 海外人材事業グループ 幾田 舞 氏  
メティシヤ・ムティアラ・シャムシル氏  
株式会社百十四銀行 コンサルティング部 海外進出支援チーム ブイー・マン・クオン 氏

第3部

外国人材採用関連サービス紹介  
独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ） 香川貿易情報センター  
株式会社百十四銀行 コンサルティング部

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000053.000030286.html>

# 香川県：外国人介護人材受入促進事業(補助金)

25.06.13

県は、海外での人材確保や受入環境整備に係る費用を補助する『受入促進事業』の募集を公表。

提出期間は6/24～7/4で、要綱に基づき申請する。

現地情報収集や連携構築、広報等の費用が対象。

併せて研修支援・雇用支援等の関連事業も案内。

応募多数で予算上限超の見込みが記載された。

相談は担当(介護・福祉課)へ電話で受付。

介護分野の採用と定着を後押しする施策だ。



# クリエアナブキ:『留学生就活サポート』 中四国で開始

25.06.20

クリエアナブキは、このたび人材紹介サービスの一環として「クリエアナブキの留学生就活サポート」を開始いたしました。

## 外国人就労における都市圏と地方の差

日本で働く外国人は年々増加しており、単なる労働力の補填にとどまらない役割への期待から、都市圏では専門的・技術的分野の在留資格で働く外国人が増加しています。一方地方においては人手不足の激しい分野を中心に外国人の雇用が増加していますが、専門的・技術的分野での採用には積極的ではない傾向がみられます。

## 外国人留学生の就職状況

外国人留学生は、就活のスタート時期が遅く、インターンへの不参加、企業の受け入れ体制・情報発信の不足といった課題に直面しており、就職活動が難航しがちです。さらに、大手企業や国内にある日系以外の企業を希望する割合が高く、情報の少ない地方企業への就職は進んでいない傾向があります。また、2025年卒の留学生の内定率は49.3%と、同時期の日本人学生の内定率89.7%に比べ、依然として低い水準にとどまっています。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000054.000030286.html>